

04 平成の名古屋市民の森づくり

- 【日 時】 平成 30 年 5 月 19 日（土）10：40～16：00
【場 所】 木曾町福島戸立町有林
【内 容】 以下のとおり

名古屋城本丸御殿復元事業は、最終となる第 3 期工事が終了し、6 月 8 日から名古屋城本丸御殿が一般公開されました。本事業において木曾ヒノキが使用されていることから、木材の産地で名古屋市民による植栽・育樹を行い豊かな自然環境を将来に残そうと、名古屋城本丸御殿 PR 実行委員会（事務局：名古屋城総合事務所）の主催による「平成の名古屋市民の森づくり」が今年も開催されました。平成 21 年度から木曾町戸立町有林で行われ、今年で 10 回目となります。

開催前日の 18 日午後より現地にて準備作業を行い、町村・森林組合・木曾地域振興局林務課・林業大学の学生、広域連合各職員のほか、名古屋城総合事務所からも参加し、合計 61 名で会場に横断幕や幟を掲揚したり、植樹エリアに目印となる串を刺したり、バスが通行する会場周辺道路の高枝を伐採しました。2 時間ほどで作業が終了しました。

当日は前夜から降り始めた雨もやみ、名古屋市民 119 名（バス 3 台）のほか、名古屋市唐澤副市長、名古屋城総合事務所の西野所長以下職員等 16 名及び郡内関係者 36 名の合計 171 名で行われました。

開会式典では、唐澤副市長及び原木曾町長（木曾広域連合長兼務）よりご挨拶をいただいた後、木曾地域振興局林務課の説明と県林業士会木曾支部の実演により、チェーンソーを使った伐倒のデモンストラーションを行いました。

式典終了後、参加者は 12 の班に分かれて植樹作業を行いました。町村や森林組合などの上流域スタッフは各班で作業の指導員となり、始めに植樹作業の説明と実演を行っていただきました。参加者はそれぞれ鋏を手に 1 本ずつ丁寧に苗木を植えていきました。植樹のあとは、事前に配布されていたヒノキ製のプレートにメッセージを書き、目串に結びつけていきました。

※ 今回植樹した苗木：ヒノキ 750 本、コウヤマキ・コナラ・クスギ・イロハモミジ・
ナナカマド各 50 本…合計 850 本

30 分ほど作業を行った後、中締めを集会を行い、木曾地域振興局林務課の小田切課長より講評をいただきました。

ここから参加者は「とことんコース」と「一般コース」の 2 つに分かれて行動しました。

「とことんコース」（参加者 36 名）は、昼食をはさんで午後も引き続き植樹作業を行いました。

「一般コース」（83 名）は、今回南木曾町を会場として観光散策を行いました。天白公園で昼食をとり、その後妻籠宿に移動し自由散策をしていただきました。昼食時には、南木曾町向井町長から歓迎あいさつをいただきました。

「とことんコース」は午後 2 時頃、「一般コース」は午後 4 時頃に名古屋市へ向けて出発されました。午前中の植樹作業で植えきれなかった苗木については、上流域のスタッフにより植栽していただきました。

平成 30 年度地域間交流事業

◎ 当日の様子



開会式典の様子



名古屋市唐沢副市長あいさつ



原 木曾町長・連合長あいさつ



伐倒デモンストレーション



植樹作業の様子①



植樹作業の様子②



植樹作業の様子③



地域振興局 小田切林務課長の講評

平成 30 年度地域間交流事業



とことんコース 植樹の様子



一般コース 南木曾町長のあいさつ



一般コース 昼食時の豚汁配布の様子



一般コース 妻籠宿散策の様子①



一般コース 妻籠宿散策の様子②